

# 夭逝の作曲家・矢代秋雄、再び。

夭逝の作曲家矢代秋雄が折々に綴った論考をまとめた、知る人ぞ知る名著が没後50年を機に新装丁で復活！

近年演奏機会が増え、脚光を浴びる作曲家矢代秋雄。その作品からはつねに完璧を目指して創作と向き合う創造者というイメージを感じるだろう。

そのいっぽう、飾らず率直に綴られた、みずみずしい息吹を味わえる名エッセイを遺した文章家という顔をもっている。

本書に収められた、敬愛する作曲家の分析や本質に迫る鋭い音楽論、《交響曲》《チェロ協奏曲》《ピアノ協奏曲》など自作曲の制作ポイントや楽曲解説、ペルルミュテル、ランパル、パレナン弦楽四重奏団など演奏家の美点・特質や交流のエピソードといった、香り高い文章はいまなお輝きを放っている。

矢代秋雄理解に必読の一冊。

帯に藤田真央氏・山田和樹氏の推薦コメント入り！

## 矢代秋雄 音楽論集

オルフェオの死 矢代秋雄

Akio Yashiro

音楽之友社

## 矢代秋雄 音楽論集 オルフェオの死

予価2,750円(本体2,500円+税10%) ISBN 978-4-276-20046-3  
四六判 256頁

### ■矢代 秋雄 (ヤシロ アキオ)■

1929年東京生れ。

東京音楽学校研究科修了。1951年~1956年、フランス政府給費留学生としてパリ国立音楽院留学、ナディア・ブーランジェ、ジャック・ドゥーラ・ブレール、オリヴィエ・メシアン他に師事。その後、東京芸術大学作曲科教授を務める。1976年急逝。

主要作品

「交響曲」、「チェロ協奏曲」(第9回尾高賞)、「ピアノ・ソナタ」、「ピアノ協奏曲」(1967年度文化庁芸術祭奨励賞、第16回尾高賞)、他。

### ■目次■

#### 1 作曲家と作品

オルフェオの死

私のショパン

ハイドン序説

ブラームス試論の断片

「ペレアスとメリザンド」に見る典型

「ペレアスとメリザンド」雑考

私のドゥビュッシー観の断章

ドゥビュッシーの音楽と標題

誤解されたドゥビュッシー

ラヴェル考

二つの「マ・メール・ロワ」

ドラクワとペルリオーズ

メシアンとブーレーズ——戦後の代表的な五曲

ウォツェック見聞記

ジャンヌのこと、そして総合芸術

パリのジャンヌ、そして東京のジャンヌ

ジョリヴェに対する偏見

ミヨーと私

告白的三善晃論

#### 2 自作とその周辺

弦楽四重奏曲

交響曲

二本のフリュートとピアノのためのソナタ

チェロ協奏曲

ピアノ・ソナタ

ピアノ協奏曲

私のリズム

二つの利点——自作品のレコード化

梅原さんのジャケット装幀

自作の演奏について

#### 3 演奏と演奏家

ペルルミュテルのこと

ジャン・フルネ断章

——ドゥビュッシーを現代に生かす

フランスの管楽器奏者のことなど

完全な音楽家

ランパルの魅力

パレナン弦楽四重奏団

——彼等四人の横顔

ハラシェヴィッチとアシュケナージ

中村紘子の進境

練習所に於けるマルケヴィッチのことなど

日本の聴衆

コンセルヴァトワルの作曲科のこと

作曲の早期教育

音楽教育

洋楽百年とわたし

音楽的『豊饒の海』論

時は宙に懸けられたまま

——矢代秋雄さんを偲んで(三善晃)

あとがき(矢代若葉)

矢代秋雄年譜

(貴店名・帳合)

(注文)

音楽之友社 7月新刊書籍

## 矢代秋雄 音楽論集 オルフェオの死

矢代 秋雄 著

予価 2,750円(本体 2,500円+税10%)

ISBN 978-4-276-20046-3 四六判 256頁

冊